



自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety
(L) (I) (O) (N) (S)

会長基本方針

(2012.7 ~ 2013.6)

1. 環境保全事業の推進
2. 青少年健全育成事業
3. 例会 100% 出席の実現
4. 献血（三献）運動の推進
5. 会員維持、並びに会員増強

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第138号

■発行日／平成25年2月15日 ■発行者／駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 L.池上 勝洋 ■編集責任者／PR・IT委員長 L.橋田 利雄
■事務局／駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL.0265-83-7806 FAX.0265-83-8386
■制作・印刷／(株)宮澤印刷

会

vol.138
2013年2月

報

KOMAGANE LIONS CLUB

会長スローガン

「絆を大切に・地道な奉仕」



中央アルプス千畳敷「純白の結婚式」

2013年2月3日、中央アルプス千畳敷で「純白の結婚式」が行われました。駒ヶ根市のインバウンド事業の一環として、台湾の台中市から招待された2組のカップルが、晴天の中、雪の宝剣岳をバックに愛を誓いました。(写真：駒ヶ根観光協会提供)



334-E地区1R2Z

駒ヶ根ライオンズクラブ

新年のご挨拶



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は極度に低迷した経済情勢の中、今年は民主党から自民党に政権が移り、積極的な経済政策を打とうと活動が始まった所であります。政策の成果が上がり、各企業の業績に光が見え、社会全体が活性化することに期待したい所であります。

さて、今期のライオンズクラブスローガン「絆を大切に、地道な奉仕」のもと、半年間行動してまいりました。

各委員会とも、前期は当初の計画通り遂行することができました。会員各位に感謝申し上げます。また、9月の全体クリーン事業では、スポーツ少年団及び保護者とメンバーが一体となり、総数579名の参加をいただき、大成功で終了することができました。これも皆様に感謝申し上げます。

本年はいよいよ結成50周年を迎えます。それぞれの役員及び各委員会割りも決まり動き出します。記念大会が成功されますようメンバー各位のご尽力をよろしくお願ひ致します。

本年の会員各位並びにご家族様のご健勝とご多幸、そして各企業のご発展をご祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせて頂きます。



年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。日頃から市政に対する理解とご協力に心から感謝申し上げます。

さて、昨年は欧州に端を発する世界経済の減速、とりわけ中国経済の減速や日中間の政治問題、円高・デフレ等、景気回復に向けての足取りは重く、大変厳しい状況にありました。

年末に行なわれた衆議院議員総選挙後から株価の上昇や円安状況が見られ、景気回復の兆しがみられるようになりましたが、実体経済へ反映されるようになるには、依然として予断をゆるさない状況にあります。

ライオンズクラブの会員の皆様には、このような厳しい状況の中にも関わらず、日ごろから会長さんのスローガンにあります「絆を大切に・地道な奉仕」の精神で会員一丸となり、地域社会の発展と福祉の増進のため多大なご貢献をいただいておりますことに、心から感謝と敬意を表する次第であります。

年頭にあたりまして、改めて「アルプスがふたつ映えるまち」のキャッチフレーズのもと、市民憲章に掲げます「愛と誇りと活力に満ちた駒ヶ根市」を市民の皆様の英知を結集して築いて参りたいと考えております。

駒ヶ根ライオンズクラブの会員の皆様には、会員相互の絆を更に深められ、地域社会の更なる発展のため、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、本年が駒ヶ根ライオンズクラブ並びに関係の皆様にとりまして良い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



新春のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。また平素、貴クラブの町政に対する理解とご協力に心から感謝申し上げます。

さて、危機的ともいいくべき国、地方の経済、財政状況の中で、政権交替後の一歩明るさも見えてきておりますが、大変厳しく、めまぐるしい変化の中にあって、飯島町におきましては、産業・経済、福祉、あるいは環境、教育、文化等あらゆる面での、いち早い対応が求められており、誤りのない方向性を選択しながら、第5次総合計画の3年目として計画に掲げたそれぞれの事業を滞りなく強力に推進してまいりたいと考えております。

国道153号伊南バイパス及び県道竜東線の早期全線開通に向けた取り組みの推進、人口増対策・若者定住対策としての子育て支援の継続、更には、子どもからお年寄りまでが、安心して暮らすことができるよう、福祉、防災面での諸施策に万全を期してまいります。

終わりに、一層の町政への理解とご協力を願い申し上げますとともに、貴クラブ並びに会員の皆様のご健勝と益々飛躍されることを心からお祈り申し上げます。



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から村政に対する理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げるとともに、村社会福祉協議会に対してご支援をいただき感謝申し上げます。

昨年は、デフレスパイラルによる経済停滞の一年でした。そうした先行きの見えない厳しい経済状況は本年も懸念されますが、新しく政権を担った安倍内閣の指導力に期待するものであります。

村では、第5次総合計画の基本目標である「人と自然にやさしい創造のみやだ」の実現に向け、25年度重点方針を4つの柱にまとめ、住民参画による協働のむらづくりを基本に、成果が見えるよう、知恵を出し、汗を流し、元気なむらづくりに積極的に取り組んでまいります。

結びに、貴クラブ並びに会員の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、新春のごあいさついたします。

新春祝賀例会

1月4日(金)午後5時30分から、恒例の新春祝賀例会が駒ヶ根市のグリーンホテル1階大広間にて開催されました。冒頭、会長 L.池上勝洋が全員で新年の幕開けを祝い、全体事業などの各事業が計画どおり進んでいることに感謝し、今後も全メンバーの協力を願いたいとあいさつされました。

続いて行われた新年祝賀会には、駒ヶ根市長 杉本幸治様、飯島町長 高坂宗昭様、宮田村長 清水靖夫様、長野県議会副議長 佐々木祥二様、駒ヶ根商工会議所専務理事 吉瀬徳重様、駒ヶ根ロータリークラブ会長 伊藤雅基様、駒ヶ根青年会議所理事長 大林直樹様の7名の来賓が出席されました。来賓紹介、会長あいさつの後、来賓を代表して駒ヶ根市の杉本幸治市長が早急な景気回復の必要性を訴え、それにはライオンズの皆様のご協力を是非お願いしたいとあいさつをされ、祝宴が賑やかに開かれました。



クリスマス 同伴例会 & 懇親会



のど
自慢会



クリスマス同伴例会が昨年12月21日(金)午後6時よりJAアイパルいなん3F大広間にて、メンバーとパートナー同伴で盛大に開催されました。

会長 L. 池上勝洋が挨拶で大勢の出席に感謝を述べられ、その後、在籍表彰と最多ドネーションの表彰が行われクリスマス例会が終了しました。続く懇親会では、計画委員会の企画で、「のど自慢大会」が行われ各委員会から選出されたのど自慢の面々が得意の歌を披露し、大いに会場を盛り上げました。おいしい料理と美しいシクラメンで会員もご夫人共々大変満足そうでした。



2012年度(前年度)最多ドネーション上位表彰者

『ご協力いただきまして、ありがとうございました』

- 1位 L. 宮下 勝
- 2位 L. 林 茂男
- 3位 L. 米沢 浩一
- 4位 L. 堀澤 豊
- 5位 L. 松岡 宅吉
- 6位 L. 米山 正和
- 7位 L. 北原 公和
- 8位 L. 浦野 英喜
- 9位 L. 小池 強
- 10位 L. 林 喜之
- 11位 L. 田中 敬男

昨年度のテール・ツイスター大変ご苦労様でした。



合計 11名



在籍表彰者

駒ヶ根ライオンズクラブ結成49年目で、表彰該当者は、10名でした。

『おめでとうございます』

在籍年数	ライオン名	入会年
40年	L. 塩澤 良人	昭和47年
35年	L. 井上 勇	昭和52年
25年	L. 服部 信彦	昭和62年
	L. 藤沢 武夫	
20年	L. 吉澤 正敏	平成 4年
10年	L. 松井 俊仁	平成14年
	L. 米沢 浩一	
5年	L. 池上 博康	平成19年
	L. 佐々木 祥二	
	L. 林 喜之	



本年度 LCIF 基金拠出協力ライオン

本年度は6名のライオンに拠出していただきました。

- L. 池上 勝洋(3回目)
- L. 浦野 英喜(4回目)
- L. 宮下 厚(2回目)
- L. 横山 信之(3回目)
- L. 下澤 正一(1回目)
- L. 林 茂男(4回目)

『ありがとうございました』





Komagane Lions Club

駒ヶ根ライオンズクラブ

KOMAGANE
LIONS CLUB ACTIVITY

アクティビティ

環境クリーン全体事業報告 〈平成24年9月9日〉

駒ヶ根ライオンズクラブ恒例の「環境クリーン事業」が、9月9日(日)に実施されました。秋晴れに恵まれたこの日は、クラブメンバーの他に駒ヶ根市スポーツ少年団の子供達と保護者579名が参加しました。

当初の予定を114名も上回る大勢の人に参加していただけたことは、今年で8回目になるこの事業が、市民の皆さんに浸透してきていることを実感しました。駒ヶ根駅前、ライオンズの森、すずらん公園、千寿園の4会場に分かれて行われた作業では、子供達が率先してゴミを拾い草を取り、親子で気持ちの良い汗を流し、本事業は無事終了しました。



メガネリサイクル・アクティビティ 〈平成24年9月26日〉

9月26日(水)に駒ヶ根商工会館にクラブ三役が集まり、メガネリサイクル・アクティビティを実施しました。

この活動のきっかけは、駒ヶ根市の総務課から「市役所の倉庫にたくさんのメガネがある。何かに役立てようと調べたところ、ライオンズクラブがメガネのリサイクル活動をしていることを知り連絡した。」という一本の電話でした。ライオンズクラブ国際協会日本事務所へ問い合わせたところ、同活動をしている東京三軒茶屋ライオンズクラブをご紹介いただき、引取りについて了解を得ることができました。ご提供いただいた内訳は、メガネ41、メガネフレーム198(うち未使用187)でした。

これらのメガネはオーストラリアに送られ有効活用されますので、丁寧に梱包し東京へ送りました。今回の活動は、県下でも珍しいアクティビティとなりました。



中央アルプス山頂美化活動 〈平成24年10月17日〉

10月17日駒ヶ根市、宮田村の観光課の主催による中央アルプスの美化清掃が、観光、交通、飲食組合他各種団体のボランティアの方々約70名の参加のもとで行われました。当クラブからは、L. 松岡宅吉、L. 小澤禮治の2名で参加させていただき、紅葉を楽しみながらゴミ拾いをいたしました。

当日は、千畳敷カール周辺、八丁坂付近までの担当で登山道等のごみを拾いました。最近の登山者や、観光客のゴミに対するマナーが良く年々減っているようです。

駒ヶ根のシンボルでもある美しい中央アルプス駒ヶ岳、いつまでも自然を大切に守ろうではありませんか。



赤い羽根歳末共同募金贈呈 〈平成24年12月3日〉

駒ヶ根ライオンズクラブでは12月3日(月)に池上会長はじめ、三役にて駒ヶ根市と飯島町、宮田村を訪問し、堀内副市長に5万円、高坂飯島町長と清水宮田村村長にそれぞれ2万円を金銭アクティビティとして贈呈いたしました。

各市町村長さんから、「毎年心温まる募金に感謝いたします。」というお礼の言葉があり、駒ヶ根市の堀内副市長からは、県共同募金会駒ヶ根支会長の杉本幸治市長名の感謝状をいただきました。



スポーツ少年団(レクレーション大会) 〈平成25年1月20日〉

平成25年1月20日(日)に、駒ヶ根市スポーツ少年団第24回交流大会が駒ヶ根市民体育館で開催されました。11団体とその家族約400人が一同に集まり、キンボールや餅つきを行う毎年恒例の行事です。開会式には、会長 L. 池上勝洋、幹事 L. 宮下厚、会計 L. 下澤正一、第一副会長 L. 田中一正の4名が出席しました。

開会式では、池上会長が全体クリーン事業への理解と協力に感謝し、今年の50周年事業の講演会についても期待をしてくださいと挨拶し、寄付金として10万円を贈呈しました。これに対し、スポーツ少年団の猿田本部長から当クラブに対し感謝状が贈られました。



献血推進奉仕活動 〈平成24年7月~12月〉

会員の皆様の深いご理解とご協力を賜り順調に活動を続けています。

7月より開始しました献血奉仕活動も前期12月まで延べ19会場で行い、下記の実績になっております。1月以降も3月25日の宮田村役場、日発伊那工場まで、中川村役場の協力も得られ、17会場にて活動を予定しています。なお一層の献血に対する呼びかけ、献血活動におけるお手伝い等のご協力をお願い申し上げます。《7月から12月までの実績》 ●受付者/722名 ●献血者/648名 ●400ml×575名 230,000ml 200ml×73名 14,600ml 合計 244,600ml



例会報告

平成24年9月21日(金) 講師例会 講師:塩澤 一郎 様 (山村民族の会会員)

テーマ「光前寺の昔の絵図から」

「なんじゃもんじゃ」を長野日報で連載中の塩澤先生をお招きし、光前寺の昔の絵図からと題してご講演いただきました。本題に入る前に、駒ヶ根市の大御食神社にも立ち寄られた日本武尊(やまとたけるのみこと)のお話を聞いていただきました。下伊那の星神のヒルは蒜・ヒル(にんにく)で山の神である白い鹿を退治したところから、旅人も蒜を噛んで旅をしたと言われ、そこから蒜噛み→星神になったという話は大変興味深かったです。



光前寺の絵図には、宝暦9年3月22日とあります。今から250年ほど前の光前寺の堂塔伽藍の様子が細かく書かれています。光前寺の本堂の横に五所権現、山王宮という神社もあり、神仏が同じ場所で祀られていたこともわかりました。早太郎のお墓が描かれていないので、このときよりもあの出来事であったようです。往時の姿を思い描きながら散策してみるのも面白いと思いました。

平成24年10月5日(金) 会員卓話

L. 山越 信治

テーマ「大御食神社に係る食文化」

食という字を「け」とも読むが、駒ヶ根以外の人はなかなか読めません。神のことを「さ」というお話を聞くと納得でした。「さ」(神)が食べるものが→さ食(さけ)、「さ」に仕える→さおとめ(さ乙女)、「さ」に供えるもので→さ苗(早苗)、「さ」の垣根で→さ垣(榦)。いつもながら漢字にはその文字ひとつにも重要な意味があるということを感じました。

大御食神社の記録が神代文字で西暦111年から残っていることにも驚きました。そして今年が1900年祭とわかったのもこの記録によるもの、やはり文字の大切さがわかりました。

日本武尊がなぜこの地に立ち寄られたかも前々から不思議でしたが、信濃には縄文の遺跡が5,000以上もあり、快適な居住空間に食料が豊富、その頃は鮭が給与換算となっていてその鮭が天竜川でも獲れたようです。赤須彦が提供したリストを見ると、山のもの、川のもの、果物、酒、醸造(バターのようなもの)などのおもてなしの品々に日本武尊もたいそうお喜びになられたと想像でき、そのような良い場所だったのでお休みされたということが今回のお話を理解できました。L. 山越が監修し、造られた「鰐熊すし」も今回のお話を聞きしたら味わってみたりました。ありがとうございました。



平成24年11月2日(金) 会員卓話

L. 井口 美義

テーマ「会員増強について」

クラブを成功させる為には何と言っても会員の増強が大切と考えます。

その為には何が必要か。それは好感の持てるライオンズクラブとしてのPRです。では、どの様にすれば良いか。それは地域のマスコミをうまく使う事です。広告を出して宣伝してもらうのではなくて、PRしてもらうよう仕向けるのです。



では、どうすれば良いか、それには世間の支持を集め好感の持てるアクティビティを行なう事です。私は次のような経験をしました。映画のチケットを買ってもらう為に回っていました。「映画会の余剰金は全て学校、福祉施設に寄付させていただきます。飲み食いには使いません」とお願いしました。すると、「そうですかライオンズさんの為なら協力しますよ」と心良く買って下さいました。その結果それが施設に多額のアクティビティをすることが出来ました。役員必携にあります。「地域社会が進んで拠出してくれた基金を基に資金獲得事業を行い地域に還元する。これが一番理想的なアクティビティである」と。世間の支持と評価を得ることが出来ればマスコミも進んで取り上げてくれるのです。

そして、「自分もライオンズに入って奉仕をしてみたい」と思う人も出て来ます。直後に二人の方が進んでライオンズに入会してくれたのです。

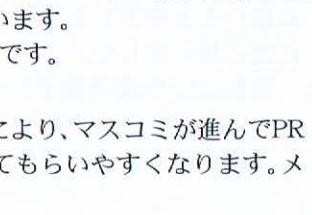
献血・献血事業について

私は献血された眼球を、諫訪日赤、また夜中に東大病院まで運んだ事があります。大変な事でしたので、「尊い献血事業継続の為に」と題して改善の為にザ・ライオンに投稿しました。その成果か、今では県内で処理されています。

献血事業も全メンバー協力により地区内においても良い成績を続けています。「継続は力なり」です。

クラブを成功させる為に

クラブを成功させる為には、「地域に喜んでもらえるアクティビティ」をすることです。これにより、マスコミが進んでPRをしてくれます。世間に好感をもたれ尊敬されるクラブとなれば入会をお願いしても受け入れてもらいややすくなります。メンバーの姿勢が大切であると考えます。



平成24年11月16日(金) 講師例会

テーマ「駒ヶ根市第4次総合計画に向けて」

第3次総合計画は、平成28年までの計画として15年前に作成されました。その頃はリニアの計画もなく、経済もこれほど悪くなると思っていませんでした。今、計画を進めていくには条件もだいぶ違ってきましたので、現実味のある計画をということで2年前倒して平成26年から10年の計画を作っていました。

新たな発展基盤となる総合計画を作っていく中で、行政が進めていくだけではなく、住民である皆さん一人一人も「これをします」という計画ができるいくと良いと思います。「駒ヶ根市の〇〇を日本一にします。」自分の代ではだめだけれど、孫の代にはできるのではないか。そのような夢を継ぐ10年間にできたらいいと思っています。

東京駒ヶ根会と駒ヶ根観光協会が頑張って大田切川周辺に、桜を1,200本、楓を800本植えています。これも何年かすると素晴らしいものになります。時間をかけてやるということが街づくりには重要です。6月に台湾に行ったときに、台中市の市長と純白の結婚式の話で盛り上がり、今年度は1~2組のカップルに来ていただくことが決定しました。記念日を大事にする台湾の皆さんがあなたにやってくることも現実となりました。今後は、台湾の富裕層をターゲットにしたインバウンド事業も進めてまいります。

三遠南信道路が開通すると大勢の観光客がやってきます。スマートインターチェンジを整備し養命酒の工場、青年海外協力隊訓練所を含めた周辺の整備開発も進めています。工科短大、免許センターの誘致にも積極的に取り組んでいます。

私は、これからも「愛と誇りと活力に満ちた街づくり」に全身全霊で取り組んでまいります。第4次総合計画に対する駒ヶ根ライオンズクラブメンバーの皆様方のご提案ご協力をぜひともお願い致します。

平成24年12月14日(金) 講師例会 講師: (福)日本聴導犬協会 村澤 久美子 様 矢澤 昌子 様

L. 気賀澤 敬子
カルちゃんふじちゃん

テーマ「聴導犬によるデモンストレーション」

冒頭、矢澤様から「宮田で活動をさせていただき16年を迎えました。駒ヶ根LCからは初期の頃からたくさんのご支援をいただいております。本日はこのような機会を頂戴できましたことに感謝申し上げます」というご挨拶がありました。

聴導犬協会は、耳の聞こえない方に生活で必要な音を教える聴導犬を育成しています。盲導犬は日本で2,060頭くらい活躍しています。介助犬が60~70頭くらいです。聴導犬は日本に42頭しかいません。

長野県で聴導犬(カルちゃん)と暮らしているのは、今回の講師の村澤さんひとりだけです。今まで、道で鍵を落としてもわからず、拾ってくれた人から声をかけられてもわからず、無視をしたと誤解されたり、お風呂の水が一杯になって溢れたり、火にかけた鍋が焦げてしまったりと危ないこともあります。しかし、カルちゃんと暮らすようになって3年目となりましたが、タイマーを使ってお風呂や料理の時間をセットしておくとカルちゃんが教えてくれます。外出も安心してできるようになりました。という体験談をお聞きしました。

その後、デモンストレーションとして、耳の聞こえない人を呼んでくる仕事、鈴を鳴らすとユーザーにタッチし音の鳴る方へ連れていく仕事、池上会長も身をもって体験された寝ている人を起こす仕事などを見せていただきました。聴導犬はとても厳しい訓練を受けて我慢をさせているように思われますが、聴導犬協会では出来たときにたくさん褒めます。それと出来たときご褒美をあげます。このように良いことをどんどん増やしていく訓練をしています。怒らずに褒めて伸ばす。何だか我々にも応用できそうな教育方法だと思いました。

最後にL. 気賀澤敬子から「駒ヶ根LCのメンバーとして、皆様の暖かい気持ちを聴導犬協会に繋げていきます。これからもご支援を是非お願いします。ありがとうございました。」というお礼の言葉がありました。それに対し、池上会長から講演中に集まった募金32,000円余を贈呈し講演会は終了しました。

講師: 駒ヶ根市長 杉本 幸治 様



菖蒲狩り例会

平成24年10月19日(金)

昨年の10月19日(金)午後6時より本町の割烹いわたや大広間にて菖蒲狩り例会が、松本中央ライオンズクラブより会長 L. 堀内周次、幹事 L. 降旗一路、会計 L. 小笠原守と事務局員の白仁田貴世様をお迎えし盛大に行われました。

当日は、朝6時に約20名のメンバーが集合し、L. 下島利満の山とL. 林喜之の山に分かれて菖蒲狩りに入りました。例会の数日前に雨が降ったので少し期待をして山に入りましたが、思った以上の収穫を上げることができませんでした。それでも仕入れの担当ライオンの奮闘により、松菖や素晴らしい菖蒲を沢山用意していただきました。競も競人のL. 宮下厚と皆様の協力により完売することができ、多額のチャリティー収益となりました。皆様のご協力をいただき盛大に菖蒲狩り例会ができましたことを感謝します。ありがとうございました。



1 R 第1回合同地区ガバナー諮問委員会

平成24年9月14日(金)

平成24年9月14日(金)午後3時より、JA・アイ・パルいなんに於いて駒ヶ根ライオンズクラブがホストクラブとなり、第1回1R合同地区ガバナー諮問委員会が開催されました。1Z、2Zの10クラブから70人程度が参加し、当クラブからは会長 L. 池上勝洋、幹事 L. 宮下厚、会計 L. 下澤正一の三役、1R2Z・ZC L. 浦野英喜、1R・PR・ライオンズ情報委員 L. 横山信之と事務局員、オブザーバーとして、テールツイスター、ライオンテーマー、PR・IT委員長の8名が出席しました。

1R2Z・ZC L. 浦野英喜の挨拶と議長としての進行で、まず地区委員会報告があり、L. 横山信之より1R・PR・ライオンズ情報委員会の方針について報告がされました。その後、各クラブ会長による諮問事項報告があり、当クラブからは池上会長がフィリピン合同医療奉仕活動への取り組み、環境クリーン事業等について報告しました。

最後にZC L. 浦野英喜による挨拶と閉会のゴングで諮問委員会は閉会となりました。続いて懇親会が行われ、各クラブ間でガバナーの方針を確認しつつ親睦を深める良い機会となりました。



ライオンズクラブ講習会

ライオンズクラブ国際協会3334-E地区・1R2Z

平成25年1月16日(水)

1月16日(水)12時30分より334-E地区・1R2Zのライオンズクラブ講習会が、JAアイ・パルいなんにおいて開催されました。ホストクラブの駒ヶ根ライオンズクラブからは、会長 L. 池上勝洋、幹事 L. 宮下厚、会計 L. 下澤正一、1R2Z・ZC L. 浦野英喜、YCE委員長 L. 武田三郎、PR・IT委員長 L. 橋田利雄の6人が出席しました。

幹事のL. 宮下厚の司会で講習会が始まり、ZC L. 浦野英喜の挨拶のあと、ライオンズクラブ特別委員 L. 野沢明夫と同特別委員 L. 大藏章男による講演が行われました。

ライオンズクラブプログラムを5W1Hで表すと、①どこで「学校」で②誰が「教員」が③いつ「道徳、特別活動、総合的学習時間」に④何を「思春期のライフプログラム教育」を⑤なぜ「ライフスキル」を身につけてもらうために授業プログラム(時間)に取り入れてもらうことを言います。青少年が失敗や挫折をしたときや困難に直面したときに、どのように切り抜け、立ち直るかを教えてくれる大変素晴らしいプログラムですが、まだまだ浸透していないのが現状です。ぜひ、この地域で1日でもいいので、ワークショップ、体験セミナーを開催しましょう。と熱く語られました。その後、質疑応答、各クラブの取り組み状況について報告が行われ、講習会は終了しました。



みんなで盛り上げよう50周年

次期会長エレクト L. 田中 一正

もとより浅学、非才の私ですが、50周年という大きな節目の年にこのような大役をお引き受けすることは身の引き締まる思いです。

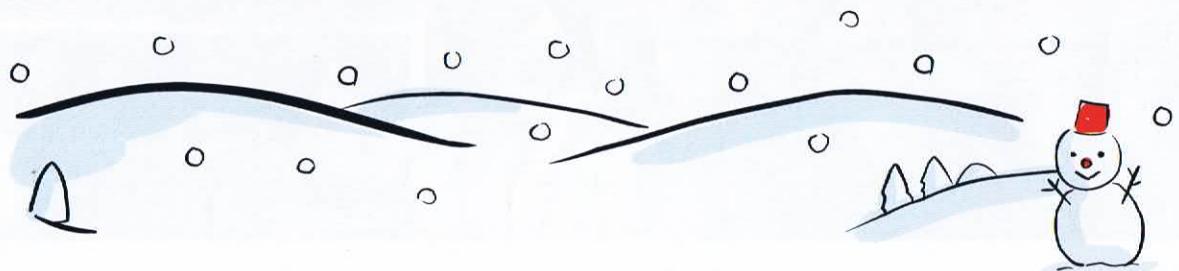
先行き不透明な経済状態の中で、50周年を迎える訳ですが、今まで実績をつみかさね、発展続けた先輩の皆さんに感謝を申し上げます。

50周年記念大会を成功させるためにも万全たる準備が必要と思われますが、皆様方にご協力いただき50周年記念大会の組織を立ち上げることが出来ました。すでに各部会の会合を持ち着々と準備が進められています。

50周年の歴史を振り返って見ますと、先輩会員の皆さんが多くの青少年育成事業に積極的に取り組んできました。将来を担う青少年に夢と希望を与えるような記念講演を実施したいと思います。結成50周年の節目の年であり先輩諸兄の威徳を偲び記念法要例会を考えています。記念誌にはこの先50年の足跡が記念に残る内容にしたいと思っています。地域社会に対しては、環境にやさしい駒ヶ根市をアピールする物を贈りたいと思います。

50周年記念大会を、歴代メンバーの方々へ感謝と共に、クラブの存続に感謝し、記念事業を一般の方々にも広く知ってもらい、ライオンズクラブの知名度と理解の向上を図り、会員同志が喜び、感謝し、更に将来への発展を誓う、そんな大会にしたいと考えています。

50周年記念大会を、是非とも全員参加で盛り上げていただき、成功できますよう、皆様のご協力をお願いします。



宮城県社会福祉協議会会长より感謝状が贈られる

昨年11月10日(土)に宮城県女川町社会福祉協議会の阿部恵子会長が駒ヶ根市を訪れ、駒ヶ根ライオンズクラブに対し、宮城県社会福祉協議会会长の三浦俊一会長からの感謝状が伝達されました。

この感謝状は、東日本大震災で被災した同町への支援として、前々会長のL. 吉澤正敏のときの軽トラックの寄贈、前会長のL. 宮下勝のときの募金活動に対するもので、前会長のL. 宮下勝と前第三副会長のL. 米山正和が伝達式に出席し受け取ってきました。

阿部会長からは、感謝と共に「これからも女川町を忘れないでください」というメッセージをいただきました。



新入会員

L. 堀内 秀 新規入会に当たって

この度は、伝統ある「駒ヶ根ライオンズクラブ」に入会させていただきましてありがとうございます。久しぶりに故郷に帰り、改めて駒ヶ根の空気の清々しさ、景観の素晴らしさを実感しているところです。

仕事では、駒ヶ根市発展のために、市民の皆様の幸せのために微力ながら精一杯取り組んでまいります。またクラブの活動ではありません貢献出来ないかもしれません、諸先輩の皆様方のご指導をいただきながら、クラブの精神に則って出来る限り活動に参加させていただきます。宜しくお願ひ申し上げます。



L. 白鳥 辰江 繼続は力なり(絆を大切に・地道な奉仕)

この度、伝統ある駒ヶ根ライオンズクラブ様に入会させていただきました白鳥辰江と申します。今年は駒ヶ根ライオンズクラブが、結成50周年を迎えるという事で、光栄と共に、歴史の重さを感じ、身が引き締まる思いです。

結成50周年、駒ヶ根ライオンズクラブの伝統に恥じる事なく、地道な奉仕を心掛け、微力ではありますが、諸先輩方のお役に立てる様、頑張りたいと思います。何もわからない未熟な私ではありますが、ご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。



物故ライオン クラブ活動への貢献に感謝申し上げます。 ご冥福をこころからお祈り申し上げます。

L. 穂高 一男

平成24年10月17日逝去

キャビネットの役員、1975年13代会長、周年大会長等数々の職を歴任され、当クラブに多大なる貢献をされてこられました。



L. 佐藤八十二

平成24年10月29日逝去

平成23年3月に入会され、明るく社交的な性格ですぐにクラブにも馴染んでおられました。これからが期待される方でした。

